

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・自由表現

審査員

日本画：岩田 壮平・鬼頭 美奈子

書：黒田 賢一・沢村 澄子

洋画：水沢 勉・柳澤 紀子

写真：鈴木 理策・竹内 万里子

彫刻：建畠 哲・宮永 愛子

自由表現：曾谷 朝絵・堀越 英嗣

工芸：花里 麻理・森野 泰明

清流の国ぎふ芸術祭

第6回ぎふ美術展

THE 6TH

GIFU ART

EXHIBITION

うまれる。

あふれだす。

2025.
08.09 SAT—
08.24 SUN

岐阜県美術館

The Museum of Fine Arts, Gifu

岐阜市宇佐 4-1-22

観覧無料

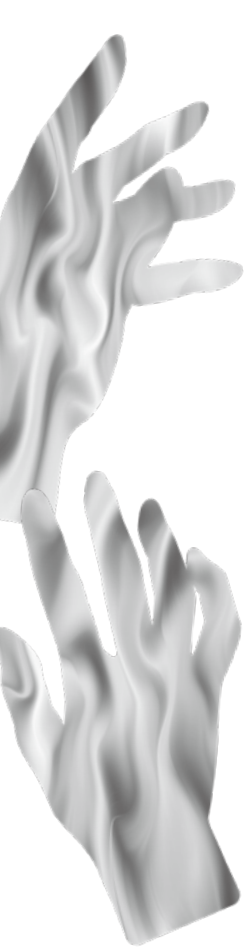
ADMISSION FREE

開館時間 10:00-18:00 初日は14:00から／最終日は14:30まで

休館日 8月12日(火)・18日(月)

[主催]

岐阜県・岐阜県美術館、
(公財)岐阜県教育文化財団



日本画

目の前の此処に運ばれてきた各々の応募作品には、きっと多くの描く苦勞や楽しみ、そして夢が込められているのだらうと、今回の審査をさせて頂くなかで私は想像せずに居られなかった。これは私がきつと描き手側だからなのかも知れないが、その一つ一つの力作に賞と入落を付けねばならない苦しさをその都度に何時も思う。

僅かながらの差で分かれてゆく作品たち。その向こう側に見える描き手の姿に、共に同じ様に絵を描く私の姿を重ね合わせてしまう。そんな描き手の決めかねてしまう心の頼り無さを審査で一緒にさせて頂いた名都美術館の鬼頭美奈子氏にとても助けて頂いた。

今回、出品された皆さんが、作品を描くにあたり努力をされた真実は紛れもない事実。どうか結果に左右されず、確信を持ってこれからも描き続けて頂きたいと心から願うばかりである。

ぎふ美術展賞に選ばれたリイシンさんの『アイデアの形』。この作品は、初めから作品の持つ求心力が一際であった。白と黄色を基調としクリムトを彷彿とさせる装飾性を用いて、ある年頃の女性の心の内実をリアルに表現したものと思う。描くことに未だ未成熟ではあるが、かえってその拙いところが成熟し切れてはいないこの作家の今後の未来性を大いに感じるどころであった。

優秀賞の水野壽子さんの『秋寂び』は、自然の美しさというものを丹念に岩絵具で描き出し、日本画特有のパッションではない、平常心で以て淡々と創造するその姿勢に感銘を受けた。また、かわかみはるかさんの『エンドロールはまだ遠く』。高速バスの車内に籠る閉塞感が若者の持つ悩みの重苦しさ、垣間見える窓越しの夜景に暗示される夢や希望、その絶妙な表現力。

奨励賞の伊藤薫さんの『花の舞ふ』。岡田玲奈さんの『もちもちな夢を見て』。古川幸代さんの『花回廊』。和久田尚希さんの『碧を味わう』。そして入選された方々を含め、一つ一つの作品と対峙したその瞬間の感動が審査を終えた私の身体中をいま巡っている。

日本画家 / 武蔵野美術大学教授 岩田 壮平

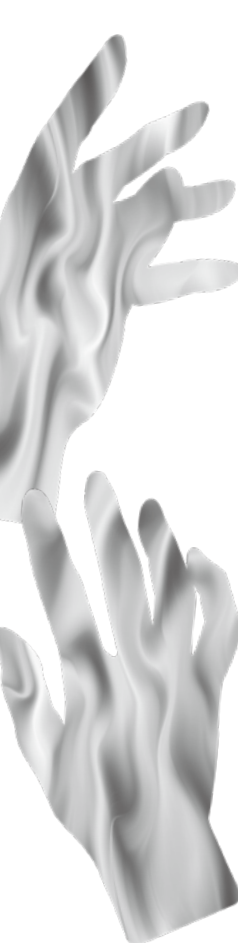
豊かな発想に裏打ちされたのびやかな作品が多く、中でも受賞作はメッセージが明確で心に響く高い表現力を備えていました。

ぎふ美術展賞に輝いた『アイデアの形』は、古典に学びながらも造形性を意識した構図にオリジナリティが窺え、圧倒的な訴求力を感じました。一方、優秀賞『秋寂び』は奥ゆかしい表現に命の輝きが映し出された一作です。自然と対峙し掴み得た本質が丁寧な筆致に息づき、静謐な世界観を醸します。同じく優秀賞『エンドロールはまだ遠く』は作者が抱く不安や苦悩がストレートに示され、創造者としての偽りない姿に共感を覚えしました。

奨励賞を受賞した4作品は各々が自身の表現と向き合い、突き詰めていこうとする真剣さが絵としての充実感に繋がったといえます。答えを求めてひたすら筆を重ねることで一つの理想が浮上する、そんな実直な絵作りが審査の決め手となりました。

名都美術館学芸課長 鬼頭 美奈子

ぎふ美術展賞	イ	デ	ア	の	形	リ	イ	シ	ン	東京都	入	選	未	来	颯	白	下呂市											
優 秀 賞	秋		寂		び	水	野	壽	子	瑞穂市	入	選	今	年	も	会	え	た	ね	北村史子	垂井町							
優 秀 賞	エ	ン	ド	ロ	ール	は	ま	だ	遠	く	かわかみはるか	東京都	入	選	鍛	冶	屋	の	洗	礼	亜 種	東京都						
奨 励 賞	花		の	舞	ふ	伊	藤	薫		関 市	入	選	金	色	の	時	・	妬	鏝	さ	や	か	東京都					
奨 励 賞	花		回		廊	古	川	幸	代	垂井町	入	選	取	捨	選	択	の	賜	物	天	野	彩	音	愛知県				
奨 励 賞	碧	を	味	わ	う	和	久	田	尚	希	静岡県	入	選	ご	ち	そ	う	さ	ま	だ	伊	藤	歩	生	愛知県			
奨 励 賞	も	ち	も	ち	な	夢	を	見	て		岡	田	玲	奈											愛知県			
入 選	安	息	の	森		伊	藤	陸	美	岐阜市	入	選	星	の	舞	踏					小	川	友	季	愛知県			
入 選	四	季	の	小	径	伊	藤	敏	彦	大垣市	入	選	B	o	l	e	r	o			坂	井	良	美	愛知県			
入 選	と	ざ	さ	れ	た	少	女	像			水	上	春	嶽											愛知県			
入 選	游					泳	柳	沼	至	大垣市	入	選	猛		虎		図			田	中	雛	乃	愛知県				
入 選	K	A	I	G	Y	O	所	久	美	子	関 市	入	選	昏	々	と	眠	る			中	島	梨	瑠	愛知県			
入 選	雨		上		ル	河	田	正	樹	各務原市	入	選	雪	の	太	鼓	楼			長	山	宏		愛知県				
入 選	虹	の	下	で	は	高	橋	か	お	る	各務原市	入	選	「								ぷ	り	ん	愛知県			
入 選	昇	龍	の	如	く	真	野	由	紀	子	各務原市	入	選			独						矢	崎	大	成	愛知県		
入 選	高	峰	の	杉	社	に	春	が			川	井	庸	弘									香	藤	田	大	翔	三重県
入 選	藤	棚	の	光	陰	石	田	幸	誠	山 県 市																		
入 選	花	と	魚	と	人	と	…				山	脇	珠	香	山 県 市													
入 選	森	の	は	じ	り	-	新	緑	と	ヤ	マ	ザ	ク	ラ	-													
入 選	本	の	森	、	活	字	の	海	Ⅱ		山	川	竹	之	本 県 市													
入 選	約					東					浅	井	新	太	下 呂 市													



洋画

今回の洋画の審査に当たって感じたことをここに記しておきます。いま審査を終えたばかりでの感想です。応募作品230点を拝見し、全体として表現のレベルの高さにとても驚きました。そして、作品をひとつひとつ審査していくにつれ、その多様さにも圧倒されました。それは表現の自由がジェンダーや年齢や地域にとらわれずに追及できているからだと思われます。

もちろん、岐阜という自然豊かな環境が大事な背景になっているはずですが、それにも縛られずに、より広い自然との対話を描き出そうとするいくつかの作品にエコロジーとの親和性が感じられたのです。具体的には、ぎふ美術展賞を受賞したユリさんの《サルがいる風景》は、その典型ではないでしょうか。また、奨励賞の対象となった久古春輝さんの《底流》は、油彩画によるミニマルな表現によって、逆に、自然の広がりも連想させてくれるものでした。そうした表現全体の広がりも豊かさが、政治闘争にとらわれた硬直したイデオロギーからの解放としての自由さを体現していたのです。

美術史家 / 美術評論家 水沢 勉

優秀賞作品の篠田ひろのりさんの「(内的時間意識の)1秒」のタイトルにもすでに表現されているが、一秒の背後に存在する彼の人生の実体を客観視しようとした秀逸な作品です。勇気の要る仕事ですが、今後を期待しています。

ぎふ美術展賞のユリさんの「サルがいる風景」には、最初眼にした瞬間から魅かれました。混沌とした現代社会の中における人間達のおろかな姿をサルがいかに見ているかを訴えている力作です。バックに毛皮を使用していることも、より強いメッセージとなりました。

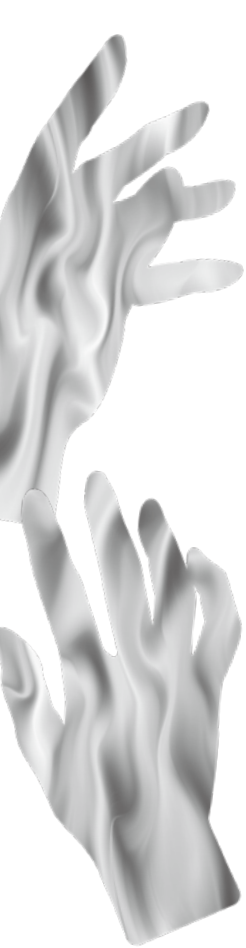
本年度のテーマは「うまれる。あふれだす。」でしたが、テーマにふさわしい230点もの作品の応募があり、しかも多様な表現による作品群であったことには、岐阜県の風土を感じ、うれしく思いました。

中でも奨励賞の寺部枝梨賀さんの「転寝」はユーモラスなタイトルに反し、静謐な画面に、確かなデッサン力で表現された美しく澄んだ色調、殊にブルーは、長良川の朝の光に映える水面を想い出したが、作家が18歳と伺い、豊かな将来を思いました。

美術家 / 版画家 柳澤 紀子

ぎふ美術展賞	サル の い る 風 景	ユ	リ	関 市	入	選	古（いにしえ）の青春	伊藤憲志	大垣市
優 秀 賞	（内的時間意識の）1秒	篠田ひろのり	八百津町		入	選	母 からの 贈り物	久世久子	大垣市
優 秀 賞	慈	雨	白石絵美	愛知県	入	選	赤 坂 ボ タ ン 園	名和昭司	大垣市
奨 励 賞	底	流	久古春輝	岐阜市	入	選	昭和のビリヤード場	早野純一	大垣市
奨 励 賞	転	寝	寺部枝梨賀	岐阜市	入	選	拝啓、二度と会えないあなたへ	村井美公	大垣市
奨 励 賞	化	身	島田加寿子	愛知県	入	選	富山市と立山連峰	山田英史	大垣市
奨 励 賞	一日一枚～山との対話～		田中天顕	愛知県	入	選	深淵にたたずむ	上屋美千弘	高山市
入 選	H e y , m y f a m		大野結菜	岐阜市	入	選	記憶の中で 2025-1	長瀬哲夫	高山市
入 選	傍	観	押味忠志	岐阜市	入	選	荒 野 の 瞳	石神純	多治見市
入 選	静	謐	菊井文華	岐阜市	入	選	現代社会における孤独と内省	井上隆志	多治見市
入 選	祈	り	神山悦夫	岐阜市	入	選	帰 り 道	柴田藍衣	多治見市
入 選	静寂の山里風景		佐藤正己	岐阜市	入	選	森 の 息 吹	榊原由美子	関 市
入 選	おしこんでとじこめて		澤 永遠子	岐阜市	入	選	アース・カービング	深井保正	関 市
入 選	休 憩 時 間		杉浦明美	岐阜市	入	選	十字架によって神と和解させてくださった	土屋英一	瑞浪市
入 選	バリ・ダンサー		杉原代志子	岐阜市	入	選	風 神 ・ 雷 神	近藤孝夫	美濃加茂市
入 選	夢の通り道を歩いています		高見敏幸	岐阜市	入	選	W h o a r e y o u ?	伊佐治孝文	土岐市
入 選	ほ の か と ふ う か		武山 隆	岐阜市	入	選	旧、脇本陣の屋根	酒井勝正	各務原市
入 選	After the Harvest		永家秀子	岐阜市	入	選	晩 夏 の 焼 岳	佐藤捷年	各務原市
入 選	息 づ く も の		林 叶子	岐阜市	入	選	時 の 記 憶 を 読 む	戸部善晴	各務原市
入 選	不一致の生き様		細野沙空	岐阜市	入	選	一	隅 森 泉	各務原市
入 選	c h e v a l a i l é		米山歩佑	岐阜市	入	選	気	色 山田和子	各務原市

入	選	兎の想い	小川ひろみ	瑞穂市
入	選	さあ、いこう	長田真二	瑞穂市
入	選	早春に咲く	小島由美子	瑞穂市
入	選	家族の絆	歳藤豊子	瑞穂市
入	選	長良川河畔－秋陽スポット	野々山富子	本巣市
入	選	わた絵「ぎふの水はおいしいにゃん」	堀田きよみ	本巣市
入	選	流華	よしひろ	郡上市
入	選	非暴力守護神	田中泰彦	海津市
入	選	旅情	南谷正	海津市
入	選	寂しさ	森延男	笠松町
入	選	落葉の景	鹿野富子	神戸町
入	選	道連れ	澁谷美智子	安八町
入	選	湖畔雨後	白川勇一	揖斐川町
入	選	雲波通信	みよい みさ	神奈川県
入	選	森海川(むく)、サケ来る(く)居る(る)アラスカ(北)海道、 二つの北の大地に先住民の暮らし在り。	浮橋美頭	富山県
入	選	淡墨桜(樹魂)	鷲山大志	静岡県
入	選	パンを焼く	家木幸一	愛知県
入	選	輪廻	小川茂	愛知県
入	選	静かなる貝	小倉義夫	愛知県
入	選	(14) 屑		愛知県
入	選	どこから来たのか	楠山こづえ	愛知県
入	選	K i t c h e n	小玉君子	愛知県
入	選	人類の進化その終焉	J u n	愛知県
入	選	奏でる	鈴木孝治	愛知県
入	選	のぼる	鈴木康代	愛知県
入	選	はくの大好きなきょうりゅうとドラゴン	高橋幹治	愛知県
入	選	F i n a l l y c a m e	竹中英夫	愛知県
入	選	怪光	ツルタマサシ	愛知県
入	選	雨の予感	中館玲愛	愛知県
入	選	何者？	村上元彦	愛知県
入	選	受胎告知	吉田容子	愛知県
入	選	予感	太田八思	滋賀県
入	選	アヤナス	三浦妙子	滋賀県
入	選	噴出、そして還る	Me koto	滋賀県



彫 刻

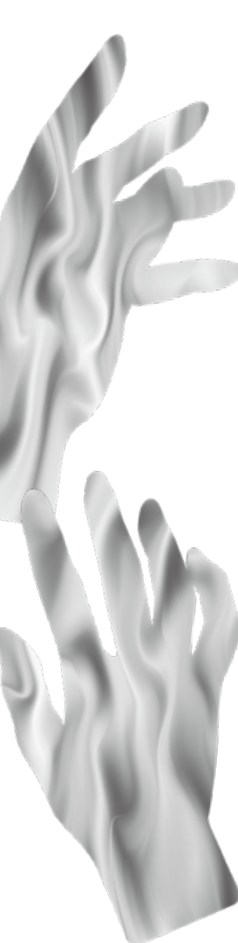
彫刻部門の応募作品は素材も技法も極めてバラエティーに富んでおり、7歳の作品が入選するなど年齢の幅の広さにも驚かされたが、それぞれ自由に制作を楽しんでいる雰囲気が伝わってくる審査であった。ぎふ美術展賞の竹田歩里さんの《内包する形》は渦を巻きながら上昇する有機的な襷とそれが内包する空洞からなる作品で、技術的な完成度の高さと陶彫ならではの生命感を宿す独自の造形力を高く評価したい。優秀賞の松原賢典さんの《エリア180》は人体を思わせる特異なメタファーをはらんだ作品で、陶を素材としていても上記の表現とは対照的な一種不穏なところのある形態感覚や粗いテクスチャーがもたらすインパクトに注目した。同じく優秀賞の堀場葵己さんの《17才、私の風のカタチ》は石と木とを組み合わせた作品で、きわめてシンプルでバランスのとれた構成に惹かれた。奨励賞の尾藤敏彦さんの《蠟型鑄造作品 対作品 窠I・窠II》はさまざまな金属のパーツからなるいわゆる集合彫刻で、人体のイメージとメカニカルなイメージとを一体化させるという発想が興味深い。

草間彌生美術館館長 建 畠 哲

彫刻制作は、広い場所や重量の関係など、制限がうまれやすい分野かと思います。その中で、完成し出品までというみなさんのエネルギーは、同じ作り手として心にふれます。さてその中で、《内包する形》は丁寧な制作や大きな造形力に二人の意見が一致し、迷わず大賞に選びました。優秀賞の《17才、私の風のカタチ》は、17歳らしからぬ玄人風で、実直な姿勢がよく見て取れました。もしも美大に行って作家になる予定があるのなら、もっともっと自分を壊してみしてほしい!対して《エリア180》は遊び心とこなれた演出が利いている作品。どちらの二人にもまだまだ作品を作り出してほしいという気持ちで、賞を選びました。奨励賞に《踊るねこ》と《鳥とおはなし》を。タイトルと猫のフォルムがなんとも効いていて楽しく、鑑賞者のみえるふいごの優しい音色もよかったです。また受賞には至りませんでしたが、亀の作品も素材集めの場所や形にとっても興味が湧きました。

美術家 宮 永 愛子

ぎふ美術展賞	内 包 す る 形	竹 田 歩 里	瑞穂市	入 選 努 力 の 結 晶	安 達 友 彩	三 重 県
優 秀 賞	17才、私の風のカタチ	堀 場 葵 己	羽 島 市			
優 秀 賞	エ リ ア 1 8 0	松 原 賢 典	岐 南 町			
奨 励 賞	鳥 と お は な し	渡 邊 正 康	飛 騨 市			
奨 励 賞	蠟型鑄造作品 対作品 窠I・窠II	尾 藤 敏 彦	郡 上 市			
奨 励 賞	踊 る ね こ	ハ ッ ト リ ユ ミ コ	愛 知 県			
入 選	異 空 間 の 鼓 動	安 藤 治	岐 阜 市			
入 選	白 い 夢 の 残 響	立 崎 博 則	岐 阜 市			
入 選	陽 を 浴 び る	林 徳 和	岐 阜 市			
入 選	“生命(いのち)の表現”	樋 口 勝 彦	岐 阜 市			
入 選	根 源 の 渦	篠 田 和 幸	大 垣 市			
入 選	道 の 空 - 3	清 水 朋 文	大 垣 市			
入 選	空 想 に 安 寧 を える	杉 浦 茜	大 垣 市			
入 選	心	華 福 井 清 治	大 垣 市			
入 選	木	想 稲 垣 保 幸	多 治 見 市			
入 選	多 治 見 ネ コ ク ラ ブ	原 田 直 政	多 治 見 市			
入 選	あ る 場 所 の 記 憶	若 尾 信 二	恵 那 市			
入 選	白 昼 夢	松 尾 み さ き	各 務 原 市			
入 選	迷 宮 2 0 2 5	菅 原 光 則	山 県 市			
入 選	創 ら れ し も の	志 水 ゆ め か	瑞 穂 市			
入 選	風祝香伝-N.N.& T・CG & SSへのオマージュ	konnamakemono	養 老 町			
入 選	知 ら な い	前 田 宗 達	東 京 都			
入 選	再 会	中 尾 和 恵	愛 知 県			
入 選	無 関 心、無 関 心 じ ゃ 無 い 顔	陸のがけぶつと海のがけぶつ	愛 知 県			



工 芸

本年度の工芸部門は79点の応募作品から40点を入選としました。工芸は本質的に身近な存在であり、かつ、自身の思いを表現するメディアでもあるため、応募作品は実に多彩で、審査の難しさを感じましたが、作品を繰り返し眺めるうちに、創造性、技術力、表現力の目立った作品が受賞へと至った次第です。

ぎふ美術展賞を受賞したのは、岩井美佳さんの染色作品《胞膜 20240810》です。毛細血管のように広がる線文が妙に艶めかしく、心に触れました。銀箔や刺繍の造形上のアクセントや五角形の形状も効果的でした。優秀賞の千賀彩永さんの陶芸作品《滴る》と、Eltteさんのガラス、貝殻、木材を組み合わせた《「海の祈り-Réminiscence」》は、素材の可能性に向き合い続けた時間の長さがエネルギーな表現に結実したと思います。

最後に他部門の話題ではありますが、工芸素材と技術による作品が、彫刻部門や自由表現部門に入選しています。部門別の応募方法の課題を示唆していると思いました。

茨城県陶芸美術館学芸課長 花里 麻理

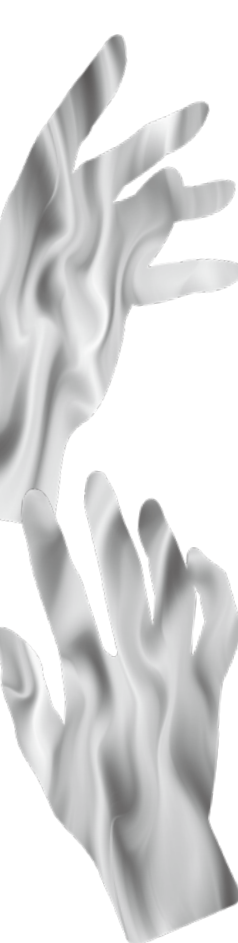
出品作品は工芸素材を表現の媒体とする造形志向の作品と発想を工芸の原点に求める二つに大別できる。

ぎふ美術展賞の岩井美佳さんの「胞膜 20240810」は抑制のきいた表現で微妙な色調の変化は豊かな装飾性を発揮している。優秀賞のEltteさん「「海の祈り-Réminiscence」」は清新にして意欲的な感覚を具現化している魅力のある作品である。千賀彩永さんの「滴る」の作品は円味のあるふくよかさと、土の持つ自然な味わいと自己の感覚を燃焼させようとする心情が豊かにうたいあげられている。

奨励賞の尾藤真琴さんの「日常」のガラスは小品ながら単純明快なフォルムに作者の装飾作調が発揮され創意に満ちた作品である。松井祐人さんの「流線揺鉢」はロクロ成形で、土の持つ自然な味わいとそれをコントロールしながら自己の感覚を燃焼させようとする作者の意向が感じられる。沙城さんの「Bug Voice」は独自の装飾性が現代感覚に溢れ、ユニークな発想で不思議な世界を創出している。

陶芸家 / 日本芸術院会員 森野 泰明

ぎふ美術展賞	胞 膜 2 0 2 4 0 8 1 0	岩 井 美 佳	石 川 県	入 選	慈	悲	大 谷 典 子	各 務 原 市
優 秀 賞	「海の祈り-Réminiscence」	E l t t e	土 岐 市	入 選	街のにぎわい(オランダ)		小 川 真 佐 子	各 務 原 市
優 秀 賞	滴 る	千 賀 彩 永	養 老 町	入 選	希	望	加 藤 緑	可 児 市
奨 励 賞	流 線 揺 鉢	松 井 祐 人	多 治 見 市	入 選	つ ち あ そ び		森 下 胡 桃	可 児 市
奨 励 賞	日 常	尾 藤 真 琴	郡 上 市	入 選	潮	の 住	竹 田 歩 里	瑞 穂 市
奨 励 賞	B u g V o i c e	沙 城	愛 知 県	入 選	古 川 や ん ち ゃ ー		河 合 由 美 子	飛 騨 市
入 選	ふきのとう(フキノトキシシ)	足 立 実 千 子	岐 阜 市	入 選	夏	の 朝	小 竹 典 子	垂 井 町
入 選	聚	井 田 智 子	岐 阜 市	入 選	その先にあるもの		原 明 美	神 戸 町
入 選	c o m p o s i t i o n	加 藤 文 太 郎	岐 阜 市	入 選	ア フ リ カ の 鼓 動		星 野 智 子	東 京 都
入 選	ORIBE × BLUE Ⅲ	木 村 雅 行	岐 阜 市	入 選	香 り と 土 の 記 憶		安 達 潤 治	愛 知 県
入 選	七 福 神 香 合	栗 本 敏 雄	岐 阜 市	入 選	星	座	鬼 頭 徹	愛 知 県
入 選	山 ぶ ど う バ ッ ク	工 房 凜	岐 阜 市	入 選	模	倣	祖 父 江 朱 莉	愛 知 県
入 選	マンタの流線に解ける	小 酒 井 多 会 子	岐 阜 市	入 選	記	憶	中 幸 生	愛 知 県
入 選	爛 漫	島 田 慶 呼	岐 阜 市	入 選	ノ ス タ ル ジ ア		野 々 垣 ユ ミ	愛 知 県
入 選	ととのうろ series -Mimicry-	s h i r o	岐 阜 市	入 選	風 が 通 り 抜 け る V		馬 瑜 蔚	京 都 府
入 選	あるがままに自然に寄り添いて	高 橋 成 子	岐 阜 市	入 選	A r r i v a l		高 橋 の あ	広 島 県
入 選	わた絵 3 兄 弟 の 冬	長 尾 よ し み	岐 阜 市					
入 選	開 花 B l o o m	森 瀬 和 廣	岐 阜 市					
入 選	A L O H A	横 井 栄 美 子	岐 阜 市					
入 選	山 の 友 だ ち	森 本 義 夫	高 山 市					
入 選	月 の 滴	小 木 曾 教 彦	多 治 見 市					
入 選	l u m i n o u s	井 戸 佑 季	中 津 川 市					
入 選	紫にのみこまれゆく大夕焼	森 麻 里 子	羽 島 市					
入 選	生 命 の 水	林 学	土 岐 市					



書

第3回展の審査に寄せていただいて今回で2回目の任に当たらせていただきました。出品点数が思っていた程でなく作品の質がどうかと心配な面もありましたが、漢字、かな、調和体と多岐にわたり出品されており、地方展としては充実したレベルの作品が数多く見られました。

漢字作品は線が多彩で変化に富んだ書風が目を引きました。

かな作品は古筆の雰囲気を感じながら自分の表現を試みた作が数多く見受けられました。

特にぎふ美術展賞の高井敦史さんの作品は厳しく多彩な線情で大胆な動きとともに鮮明な白が紙面を支配する感動的な秀作でした。

優秀賞と奨励賞については練度とともに筆力のある作を中心に選出しました。

書は積み重ねの芸術でもあり、今後の日々の精進を心から願うとともに新しい息吹を感じさせる作品が寄せられることを期待いたしております。

書家 / 日本芸術院会員 / 日展副理事長 黒田 賢一

バラエティに富んだ選出ができたことは収穫であった。公募展審査ではどうしても練度の高いもののインパクトのあるものが目につきやすいが、ひそやかな息の中に人間や書の尊さを伝える作もあった。

伝統書にも拮抗する現代書の台頭を期待する者として、伝統の厚みにも食い下がる程の作家性、理念のようなものの必要を思う。それらが個を超えて普遍性を帯びるまで書かんとする書人がこの美術展から飛び出してくるなら、嬉しい。一方、楽しみとして書をし、そこに生活の潤いや人生の充実を求めることも意義深く、それを伝える書にも大事を思った。

応募者の書との関わり方はそれぞれに異なる印象であったが、一様にひたむきであるところが心地よく、良し悪しを決定する審査であったとは捉えず、ある価値を共有し、共に考える機会だったと思って頂けると幸いである。受賞作はいずれも練度のほかに、大きさが美しさとなって印象に残った。

書家 沢村 澄子

ぎふ美術展賞	白 居 易 詩	高 井 敦 史	垂 井 町	入 選	繁	岩 田 佳 侃	岐 南 町
優 秀 賞	窓 燈 林 靄 裏	徳 田 蒼 春	高 山 市	入 選	何 良 傳 詩	長 屋 純 子	笠 松 町
優 秀 賞	万 葉 集	安 田 胡 園	関 市	入 選	岩 谷 時 子 女 史 の 詩	溝 口 彩 風	垂 井 町
奨 励 賞	秋 の 夕 暮	清 水 青 蘭	岐 阜 市	入 選	李 白 詩 二 首	河 合 翠 山	関ヶ原町
奨 励 賞	皇 甫 曾 詩	奥 田 長 春	大 垣 市	入 選	杜 甫 詩	西 松 東 雲	輪之内町
奨 励 賞	秋 風 に	加 藤 玉 華	郡 上 市	入 選	五 言 六 句	山 田 香 遙	揖斐川町
奨 励 賞	草 廬（橘曙覧の歌）	鬼 頭 伸 寿	福 井 県	入 選	わ が こ こ ろ …	黒 川 啓 子	御 嵩 町
入 選	満 地 倒 影	浅 野 修 竹	岐 阜 市	入 選	王 維 詩「過 香 積 寺」	宮 野 葵 沙	埼 玉 県
入 選	無 為 自 然	井 上 弥 紀	岐 阜 市	入 選	商 鑑 不 遠	桐 山 要	愛 知 県
入 選	無 我 詠 鼓	岐 阜 市	岐 阜 市	入 選	王 維 詩	疋 田 礼 子	滋 賀 県
入 選	八 重 無 く ら	田 中 尚 秀	岐 阜 市	入 選	な れ き に し	清 水 直 美	大 阪 府
入 選	八 重 む ぐ ら	野 中 曾 川	岐 阜 市	入 選	井 の 中 の 蛙	平 井 淑 子	大 阪 府
入 選	七 言 律 詩 二 首	星 田 妙 子	岐 阜 市				
入 選	近 江 の 海	松 波 和 園	岐 阜 市				
入 選	過 永 樂 文 長 老 已 卒	村 瀬 貴 水	岐 阜 市				
入 選	石 川 啄 木 の 詩	安 田 朴 童	岐 阜 市				
入 選	式 子 内 親 王 の 歌	吉 村 美 瑤	岐 阜 市				
入 選	蘇 甲 骨 文 字 展	久 多 治 見 市	多 治 見 市				
入 選	思 い や り	安 田 あ か り	関 市				
入 選	天 臺 曉 望	千 陽	恵 那 市				
入 選	花 の 色 は …	浅 野 螢 雪	可 児 市				
入 選	七 律 二 首	平 田 竹 庵	本 巢 市				
入 選	や す ら は で	本 田 煌 雲	本 巢 市				
入 選	ひ さ か た の	庄 村 清 泉	郡 上 市				

写真

私は写真を見る時、自分ならシャッターを切るかを考えます。そうすることで、構図の選択やタイミングにおける撮影者の意図がより深く理解できるからです。今回の応募作品には撮影者の意思が感じられる力強い意欲作がたいへん多くありました。私は、画面の中で全てを語り尽くそうとするよりも、フレームの外に広がる空間やシャッター前後の時間を想像させる写真にこそ、見る人を刺激する広がりや深さが生まれると考えます。今回のぎふ美術展賞を受賞したねこねさんの作品では、猫を追って通った福岡県の相島で、やがて島の人々との関係が生まれていくこと、その変化が静かに語られていました。写真らしい画面をつくることより、対象への想いや出会いの喜びに突き動かされるように撮影を重ねている点が評価されました。写真を撮ること自体が目的なのではなく、伝えたいことを表す方法として写真を用いる姿勢が大切だと思います。

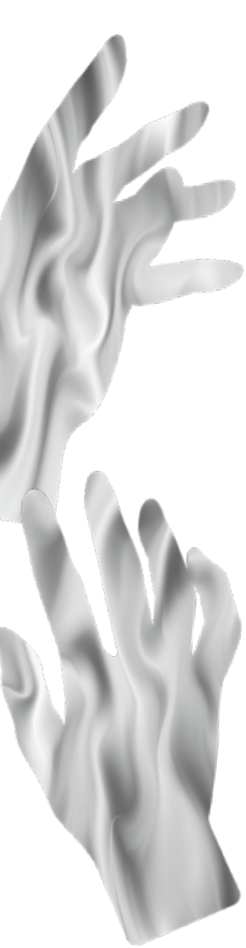
写真家 / 東京藝術大学教授 鈴木 理策

写真を撮ること自体は、ある意味では簡単です。しかしそれを、作品と呼ぶ他ないものへと深めるためには、撮ったものをとことん見つめ、考え、迷い、自分自身も変わり、再び挑戦し、失敗する、その長く複雑な繰り返しの過程を要します。今回、応募者の方々のそうした営為の成果を審査させて頂けたことは、この上ない喜びでした。特にぎふ美術展賞の「水は水の中に溶け込んでいくように」では、その誠実な彷徨のありようがシークエンスの中から立ち現れ、率直に言って胸を打たれました。

全体に力作が多かった印象ですが、若干気になったのは、黒いマットを使った作品が大変目立ったことです。黒という色はとも強く、写真の色彩やニュアンスの繊細さを損ねることがあります。額装やマットの方法にもたった一つの正解があるわけではないのですから、ご自身の大切な作品の良さを最大限に活かすために、もう少し慎重かつ柔軟に考えられてはいかがでしょうか。写真表現のさらに伸びやかな展開を願い、あえてここに書き記しておきたいと思います。

写真批評家 / 京都芸術大学教授 竹内 万里子

ぎふ美術展賞	水は水の中に溶け込んでいくように	ねこね	東京都	入選	今日の主役	下村匡史	各務原市
優秀賞	妖塊	岩村政利	笠松町	入選	これ、何に見えますか	渡邊道雄	各務原市
優秀賞	最愛のエリナがいたこと	中村正宏	東京都	入選	小瀬鵜飼人鳥一体戯画	鈴木龍祐	可児市
奨励賞	早朝の湿原	岡田則子	飛騨市	入選	Dance・Dance・Dance!	原美由紀	可児市
奨励賞	鉄塔瞬き	佐藤奈緒	飛騨市	入選	おどり最高潮	土田和明	山県市
奨励賞	光射す	谷口安秋	飛騨市	入選	ボクらの休暇	牛丸明美	飛騨市
奨励賞	出番前	北嶋敏和	垂井町	入選	湖畔の朝	古田雅久	郡上市
入選	寒い朝	池戸信昌	岐阜市	入選	祖母	志水照男	海津市
入選	蜘蛛の巣の惑星	伊藤美代子	岐阜市	入選	パラレル	田中美嘉	岐南町
入選	「お〜い」鬼太郎〜ッ!!	宇佐美達夫	岐阜市	入選	静寂	岩田久男	垂井町
入選	transformation of time	尾関浩武	岐阜市	入選	奇跡の光玉	富田佳信	垂井町
入選	ムンクの叫び	可児芳春	岐阜市	入選	有終を迎える	西松禮子	輪之内町
入選	奈良東大寺二月堂のお水取りお松明	柴田学	岐阜市	入選	困難と、喜びと、希望の道	対馬めぐみ	揖斐川町
入選	姥桜	棚橋靖子	岐阜市	入選	安心感	柴田要	御嵩町
入選	ザ・タンク 1.0	タナカタカノリ	大垣市	入選	彼方からの肖像	D1	岩手県
入選	3時間33分の皆既月食	津曲榮二	大垣市	入選	f e e l i n g	澤村明彦	岩手県
入選	祭りの美少年	西垣裕行	大垣市	入選	G E N K A N	katoeri	埼玉県
入選	水の惑星	日比野喜一	大垣市	入選	木立を走る	山内敏且	愛知県
入選	続き	藤田あい	大垣市	入選	音止めの滝と富士山の二刀流	小林寛久	三重県
入選	厳寒の刻	水野靖弘	大垣市	入選	記録のあなたを見つめて	新藤由貴	三重県
入選	視先の先〜キューバ、時代の狭間で〜	田口幸弘	高山市	入選	分断	三上健二郎	兵庫県
入選	鉦大将	坪内義彦	高山市	入選	時々刻々	三村孝子	広島県
入選	境界のなかで	小川健太	関市	入選	更地	保井伸基	香川県
入選	大晦日の母	桜井邦彦	関市				



自由表現

たくさんの素敵な作品と会話して、へとへとですが、楽しい一日でした。

森鈴奈さんの《まめらちゃん》は、モフモフしたくなるかわいさの裏に、キメラ的な毒っぽさがあり環境問題を想起してしまいました。細部まで完成度が高く、抜きん出ている印象でした。

鈴木博也さんの《顔・顔・顔》は、レーザーカットのシャープさと、とぼけたような顔の表情のバランスが絶妙。工業的な素材や方法をアートに昇華させていて、新鮮でした。

遠藤慎太郎さんの《縫れる社会》は、社会問題に真っ直ぐ向き合っていて、他と一線を画していました。中が空洞なのも意味深で、狂乱の社会の空虚さを表しているのでしょうか。

NOMUさんの《生命の樹》は、色彩が魅力的で、遠目に木が立ち上がる構図も印象的。近くで見ると少しさっぱりしていたので、もう一步狂気を感じるくらい描き込んだものも見てみたいです。

矢澤七奈さんの《野原》は、要素をギリギリまで絞り込んでいるのに、日本の野原の音や空気を感じさせる不思議な実感がありました。人の手にしかできない。100%オーガニックな表現が光っていました。

自由表現部門は本当に何でもアリですが、表現の内容や方法に優劣はつけられない分、「やり切っているか」が大きなポイントでした。そして、何らかの形で“今”と向き合っていることも大切にしました。社会の今、自分の今、色々な今がありますが、何かのリバイバルではない、今を生きている人間の表現が見たいです。

入賞を逃した作品にも魅力的なものが、本当にたくさんありました。賞は一時ですが、創作は長いです。これからも創り続けましょう!

美術家 曾谷 朝絵

ぎふ美術展賞に選ばれた「まめらちゃん」は不思議で圧倒的な存在感が見るものに、問いかける力と緻密さと完成度の高さを併せ持つ素晴らしい作品です。優秀賞の「顔・顔・顔」は不思議な既視感と緻密でビュアな完成度で複雑な現代への回答を感じました。「縫れる社会」は縫れた軽い新聞記事の筒と空洞が現代社会へのアートとしての貴重な問いでした。「自分が動けば、世界が変わる」は現代社会の緻密な機構がおおらかな宇宙とつながるスケールを感じさせてくれる。「鮎」は自然の中で生き抜いた樹木の断面の景色を鮎が生き生きと泳ぐ川の世界に見立てた、イマジネーション溢れる喜びを感じる作品でした。今回、自由表現部門の作品から、アートが本来もつべき役割である「問いかけ」の力と複雑な現代に対する「答え」としてのデザイン力等、伝統に縛られない自由な素材と手法で、本来のアートが表現すべき大切な意義を感じました。

建築家 / 東京藝術大学客員教授 / 芝浦工業大学名誉教授 堀越 英嗣

ぎふ美術展賞	まめらちゃん	森 鈴 奈	東京都	入 選	「 M 」 木 陰 で 。	西 本 裕 子	高山市
優 秀 賞	顔 ・ 顔 ・ 顔	鈴木博也	東京都	入 選	The proof of 21g 展・明・想	可知井英敬	多治見市
優 秀 賞	縫れる社会	遠藤慎太郎	愛知県	入 選	竜 宮 城 の カ オ ス	コヤマさくらんぼ	多治見市
奨 励 賞	生命の樹	N O M U	岐阜市	入 選	愛 し い 布 た ち	服部たか子	関 市
奨 励 賞	鮎	中島由美子	郡上市	入 選	木材のSDGsの試み	深尾忠明	関 市
奨 励 賞	野 原	矢澤七奈	愛知県	入 選	夢	武藤美千代	美濃市
奨 励 賞	自分が動けば、世界は変わる	空保順也	兵庫県	入 選	レタリングアート	加地光希	恵那市
入 選	あなたと共に	安藤ゆり	岐阜市	入 選	冬の思い出	中村龍美	山県市
入 選	The red in my heart	江川菜々美	岐阜市	入 選	自 画 像	塚本 諒	飛騨市
入 選	自己相似	加木大志	岐阜市	入 選	鳥 瞰 (ちょうかん)	坪内哲治	本巣市
入 選	Flower Endless	春日井希佐子	岐阜市	入 選	あ か つ き	遠藤辰也	笠松町
入 選	食べたものでできている	北川りさ	岐阜市	入 選	120年に一度の淡竹開花炭	和みの竹華炭 麩田	垂井町
入 選	red paper octopus' edit 4:17	コモリシゲキ	岐阜市	入 選	現 在	三島敏秀	垂井町
入 選	ブレイクダンスを楽しむ若者	佐藤正己	岐阜市	入 選	本当の想い 無限のチカラ	え こ	神戸町
入 選	わた絵 そばにいるよ	末良かおり	岐阜市	入 選	双 葉	伊藤 拓	輪之内町
入 選	無 題	S E N R I	岐阜市	入 選	《木の葉とこの葉Ⅱ》no.29	石黒英美代	東京都
入 選	25個のひまわり	内藤英史	岐阜市	入 選	Mechanical Composition	藤高圭介	東京都
入 選	浮 自 由	日置 恵	岐阜市	入 選	な ご や か な	こじまちあき	石川県
入 選	不思議の森の輪廻	松波康子	岐阜市	入 選	日常の出来事	小倉照江	愛知県
入 選	Recognition-2025-A	吉田尚郁	岐阜市	入 選	Metamorphoser (変容器)	小林明子	愛知県
入 選	勢 至 藍 波	相川出后	大垣市	入 選	自 画 像	田中満幸	愛知県

入	選	出	発	点	野瀬理恵	愛知県
入	選	曖昧ー完成しない額縁ー			Mr.Mooos	愛知県
入	選	ネるコはそだつ ~春夏秋冬~			伊藤良治	三重県
入	選	広い世界			瀬上明里	三重県
入	選	何だこれは？Ⅲ			川上正昭	滋賀県

うまれる。
あふれだす。

第6回ぎふ美術展 審査結果

	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	自由表現	合計
応募点数	72	230	29	79	71	173	126	780
ぎふ美術展賞	1	1	1	1	1	1	1	7
優秀賞	2	2	2	2	2	2	2	14
奨励賞	4	4	3	3	4	4	4	26
入選	30	69	19	34	29	40	40	261
入賞・入選	37	76	25	40	36	47	47	308

お問い合わせ

(公財)岐阜県教育文化財団 〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階
TEL 058-233-8161 FAX 058-233-5811 E-mail gecf@g-kyoubun.or.jp

※7月17日(木)~8月28日(木)は岐阜県美術館内 ぎふ美術展臨時事務局 TEL・FAX 058-215-5021

うまれる。あふれだす。



公式ホームページ
<https://www.gifu-art.jp>